

事業所における自己評価表

有限会社どれみ どれみV

公表:2023年 12月 30日

事業所名 どれみV

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた内容と目標
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差を無くしたバリアフリーとなっております。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングにて計画や改善についての話し合いをしています。	
	⑤	保護者等の向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			令和3年11月から末日にかけて、保護者様に事業所の評価をして頂きました。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やページ等で公開しているか	○			弊社ホームページにて公表しております。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		外部評価は実施しておりませんが、機会があれば積極的に実践していきます。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			最低、月1回の職員研修を行っております。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○				
	⑩	子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			S-M社会生活能力検査を行い、生活能力の評価を行っております。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			利用児の能力や特性に応じて、プログラムを立案しております。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○			全ての利用時に対して、能力に応じた個別支援、またはグループ学習を行っております。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、事業所内ミーティングを行っております。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気付いた点等を共有しているか	○			管理者や児童発達支援管理責任者を中心にミーティングを行い支援内容の確認、振り返りを行っております。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	○				
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全ての利用児とその保護者様に対して、6か月ごとにモニタリングを行っております。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には管理者及び児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等の連絡体制を整えているか	-	-	-		対象児なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の中で情報共有と相互理解に努めているか	○				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた内容と目標
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	-	-	-		対象児なし
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要性に応じて、関係各所との連携を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		活動の機会を設定する事ができませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等への参加しているか	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			今後は家族支援の観点から社内・外部の講師によるペアレント・トレーニングの研修を積極的に行っていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をさせて頂いております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時や茶話会にて、子育て等に関するアドバイスをさせて頂いております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		コロナの5類への移行を受け、今後は連携する機会を設けていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもの保護者に対して発信しているか	○			弊社ホームページやHUG(弊社使用の成長療育支援システム)にて事業所での活動等を発信しております。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			PCファイルはID及びパスワードを入力する事で管理しています。また、SECURITY ACTION(二つ星)を宣言(情報セキュリティ対策に取り組む事を自己宣言する制度)を実施しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			2024年1月に旭川大学と連携し、地域交流会を実施予定です。		
非常時等の対応	38	周知しているか緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月に一回、虐待についてのミーティングを行い、年に数回程度虐待防止に関する研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで個別支援計画に記載しているか	○			保護者に身体拘束についての説明、同意を頂き、個別支援計画へ記載をしています。「緊迫性」「非代替性」「一時性」を慎重に確認し、最低限度の身体拘束、行動制限に努めています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有されているか	○					